

支える人の学びの場

医療専門職のための

こころ塾 2015

2015. 11. 8 (日)、11. 21 (土)、11. 29 (日)

各日とも 10:00～17:00 まで (受付開始 9:30～)

京都大学 稲盛財団記念館 3階 大会議室

現代の社会には、人を支えることを仕事としている人たちがたくさんいます。中でも、教育や医療の現場で働く人たちは、子どもやお年寄り、病気の人や身体の不自由な人たちが安心して暮らせる社会の、一番の担い手でもあります。そして、支える人たち自身も元気で健やかに毎日を過ごせることが、私たちのめざす日本社会の姿ではないかと考えます。京都大学こころの未来研究センターでは、こうした考えのもとで「支える人たちが元気になる学びの場」を作ることを発想し、2013年から「こころ塾」を開講しています。医療専門職のためのこころ塾2015は、3日間コースで実施します。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

定員：100名 (申込による先着順) ※定員になり次第、締め切らせて頂きます。

参加資格：◇作業療法士、理学療法士、臨床心理士、言語聴覚士の実務経験が3年以上の方  
◇3日間全日参加できる方

情報交換会費：1,000円 × 3日 (初日に集めます)

主催：京都大学こころの未来研究センター

共催：京都大学医学研究科 脳機能リハビリテーション学分野 発達障害系研究室



京都大学 KOKORO RESEARCH CENTER • KYOTO UNIVERSITY

こころの未来研究センター

プログラム

9:30~	受付開始
10:00~12:00	講義① 乾敏郎(追手門学院大学心理学部・教授/京都大学・名誉教授)
12:00~13:00	昼食
13:00~14:30	講義② ゲスト講師
14:40~15:20	事例報告
15:30~16:00	グループディスカッション
16:00~17:00	講師とのQ&A

11月8日(日)

- 『認知、感情と身体性:感情の役割とその神経機構』  
乾敏郎(追手門学院大学心理学部・教授/京都大学・名誉教授)
- 『実行系注意と自己統制のメカニズムとその発達・障害』  
熊田孝恒(京都大学情報学研究科・教授)
- 事例報告 寺尾智樹(埼玉県立小児医療センター・作業療法士)

11月21日(土)

- 『言語・非言語コミュニケーションの神経機構』  
乾敏郎(追手門学院大学心理学部・教授/京都大学・名誉教授)
- 『「治す・つきあう」のバランスとその支援』  
船曳康子(京都大学人間・環境学研究科・准教授)
- 事例報告 草野佑介(京都大学医学部附属病院・作業療法士)

11月29日(日)

- 『共感脳と発達障害』  
乾敏郎(追手門学院大学心理学部・教授/京都大学・名誉教授)
- 『地域に根付く子どもの発達支援:実践と研究の一体化』  
松見淳子(関西学院大学文学部・教授)
- 事例報告 小松則登(愛知県身心障害者コロニー中央病院・作業療法士)



京都大学 稲盛財団記念館3階 大会議室  
(京都市左京区吉田下阿達町46 [川端近衛南東角])  
<http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/about/access.html>

申し込み方法

E-mailでお申し込みください。件名に「こころ塾2015医療専門申込」と明記し、必要事項を記入のうえ、お送りください。

必要事項

- ①氏名(ふりがな)
- ②所属先
- ③職種
- ④経年数
- ⑤返信用メールアドレス
- ⑥受講動機・受講のきっかけ
- ⑦こころ塾で学びたいこと・講師への質問など

※⑥⑦は簡単にご記入いただければ結構です。  
※受信後、こちらから受付のメールをお送りいたしますので、下記アドレスからメールが受け取れるよう受信設定をお願いいたします。

連絡先/申込先

京都大学こころの未来研究センター  
リエゾンオフィス(平日9時~17時)

E-mail: [kokoro-m@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp](mailto:kokoro-m@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp)

